

令和6年度 全国中学校体育大会 第53回全国中学校ハンドボール大会要項

1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くハンドボール競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

2 主催 (公財)日本中学校体育連盟
(公財)日本ハンドボール協会 富山県教育委員会 氷見市教育委員会

3 主管 北信越中学校体育連盟 富山県中学校体育連盟 氷見市中学校体育連盟
富山県ハンドボール協会 氷見市ハンドボール協会

4 後援 (申請中) スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会
日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会
毎日新聞社 富山県 氷見市 富山県中学校長会 (公財)富山県スポーツ協会
(公財)氷見市スポーツ協会 北日本新聞社 読売新聞北陸支社 富山新聞社
北陸中日新聞社 北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ

5 特別協賛 大塚製薬株式会社 菅公学生服株式会社

6 会期 令和6年8月19日(月)～8月22日(木)
19日(月)開始式 16:00～
20日(火)1回戦・2回戦(22試合) 9:30～
21日(水)2回戦・3回戦(16試合) 9:30～
22日(木)準決勝・決勝(6試合) 9:30～
3位表彰式 準決勝終了後
表彰式 決勝終了後

7 会場 [開始式] 氷見市ふれあいスポーツセンター サブアリーナ
[競技] 氷見市ふれあいスポーツセンター [氷見市鞍川43-1]
○メインアリーナ コート2面 [40m×20m]
*決勝戦のみコート1面 [40m×20m]
○サブアリーナ コート1面 [40m×20m]
氷見市立南部中学校体育館 [氷見市朝日丘3-1]
○コート1面 [40m×20m]
[3位表彰式] 氷見市ふれあいスポーツセンター サブアリーナ
[表彰式] 氷見市ふれあいスポーツセンター メインアリーナ

8 参加資格

- (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、当該競技要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は、平成21年(2009年)4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和6年6月30日までに、都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) ブロック大会で選抜された一校単位(一団体単位)で組織するチームとする。但し、「全国中学校体育大会複数校合同チーム参加規程」に基づき、複数校合同チームでの参加ができる。
- (5) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全競技を通じて、一人一回とする。
- (6) 1チームは、監督1名、役員3名(当該校教職員・部活動指導員・外部指導者)、選手15名以内の編成とし、選手15名が出場できる。
- (7) 参加資格の特例

◎学校教育法第134条の各種学校在籍生徒

- ① 学校教育法第134条の各種学校(1校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

- ② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。
- ア 全国大会の参加を認める条件
- (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
- イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件
- (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- ① 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

ア 全国中学校体育大会の参加を認める条件

 - (ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - (ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）。
 - (カ) 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - (キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

 - (ア) 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者もしくは指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - (エ) 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

ウ 参加を認めない場合

 - (ア) 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- ※1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。
- ※2 この特例は、競技部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。
- ※3 この特例は、今後も検討を続けていく。
- ※4 ② ア (オ) 改定（令和4年10月25日理事会決定）
- ※5 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインの発出により②イ (エ) 修正。令和4年12月27日

※6 ②イ(イ)「引率細則は適用する」削除(令和5年3月3日理事会決定)

※7 地域クラブ活動に名称を統一(令和6年3月8日理事会決定)

* ハンドボール大会への参加についての細則(内規)

①参加条件

- ・各大会および予選大会(地区大会を含む)への参加申し込み時にはチーム・選手共に日本ハンドボール協会への登録が完了していること。(二重登録は認めない。)
- ・参加地区は、日本ハンドボール協会への登録の際にチームの所在地を入力した場所とする。

(例)：代表者が神奈川県横浜市で登録するとチーム登録は横浜地区となる。

- ・チームは日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者のもとに適切に行われていること。また、指導者は(公財)日本ハンドボール協会の競技者及び役員倫理規定に基づく処分を受けていない者であることにする。
- ・日本ハンドボール協会が主催する全国クラブ大会および予選大会(地区大会含む)に参加した場合は中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会および予選大会(地区大会含む)への出場は認めない。
- ・地域クラブ活動で各都道府県中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合、必ず代表者は、生徒の在籍する学校長に参加することを連絡し、承諾を得ること。(書面通知・書式の指定なし)
- ・予選への参加のタイミング(地区・都道府県より)は各地区で異なるが、各都道府県中学校体育連盟のハンドボール専門部の規則・運営方法に準ずること。(大会参加打合せ等に必ず参加し状況に応じて大会運営にも協力すること)
- ・移籍について

移籍に関しては、日本ハンドボール協会の規定に基づいて可能だが、全中及び全国クラブ大会およびそれぞれの予選大会(地区大会含む)にエントリーした時点で他方の大会の出場は認めない。

(例) 予選に負けた時点でチーム移籍した場合、チームでの活動は認めるが、移籍先のチームが勝ち上がっていても大会はエントリー不可であり出場は認めない。

- ※1 上記の条件を満たさない、または参加条件に虚偽があった場合は参加を取り消す場合もある。
- ※2 この細則は、スポーツ庁、日本中体連、および日本ハンドボール協会より通達等があった際に、通達内容に合わせ加筆・修正・変更・見直しを行い、その都度公表する。
- ※3 チーム、選手の大会参加について疑義が生じた際は、日本中体連ハンドボール競技部において審議し、決定及び通達をする。

* 全国中学校体育大会複数校合同チーム参加規程

①趣旨

参加を承認する精神は、あくまでも少人数の運動部による単独チーム編成ができないことの救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であってはならない。なお、複数校合同チーム(以下合同チームという)で参加する場合は、下記の条件を満たしていることが必要である。

②条件

- ア 合同チームとしてそれぞれの学校教育計画に基づいて活動している。
- イ 合同チームの各校は、都道府県中体連に加盟している。
- ウ 合同チームとしての大会参加が、都道府県中体連に承認されている。
- エ ハンドボール競技は、7名を下回った場合を原則として合同チームを編成できる。人数の偏り、学校事情による合同の解消についても柔軟に対応すること。(前年度全中大会以降に複数校合同チームの実績があるものについては、当年度についても、都道府県中体連会長の承認がある場合、引き続き複数校合同チームを編成して全中大会に参加することができる(期間については、最長で全国大会までとする)。
- オ チーム名は校名連記とする。
- カ 参加申し込み手続きは該当校の校長が承認の上、代表校長が行う。
- キ 合同チームの引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員・適切であるとして校長が認めた外部指導者(コーチ)とする。(令和5年3月3日理事会改定)
なお、代表引率・監督は、校長・教員しかねない。(令和6年3月8日理事会(2))

⑦一部訂正)

★ 上記の実施にあたり、

- (1) 各都道府県中体連においては、合同チーム全国中学校体育大会参加の趣旨をふまえ、参加状況を十分に把握しておく。
- (2) 実施していく過程で生じる問題については、各都道府県中体連の実態に応じて、趣旨をふまえて対処するとともに、(公財)日本中体連とともに検討していく。
- (3) 部活動指導員・外部指導者(コーチ)は代表監督にはなれない。また、複数校合同チームの代表引率・監督にもなることができない。

例) A校の引率・監督→教員
B校の引率・監督→部活動指導員
もしくは
外部指導者

A校の教員は代表引率・監督になることができるので、B校の部活動指導員・外部指導者(コーチ)が大会に引率・監督として来られなくてもよい。逆は認めない。

- (4) 部活動指導員として複数校に勤務する場合、中学校体育連盟が主催する大会で引率・監督を担当できる学校は1校のみとする。着任時に大会等の引率・監督を担当する学校を決定し所属する都道府県中学校体育連盟に報告する。複数の都道府県で指導する場合も、引率・監督を認めるのは1校のみである。

* 全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程

①趣旨

参加を承認する精神は、在籍校に希望する部活動がないこと等の場合に、参加を希望する生徒を一つの学校が受け入れるというものである。区市町村もしくは都道府県委員会や中学校長会が運動部活動に参加したい生徒の救済事業として推進する活動であり、勝利至上主義のための活動ではない。

なお、拠点校部活動(以下拠点校という)で参加する場合は、下記の条件をみたしていることが必要である。(令和6年3月8日理事会文章修正)

②条件

- ア (公財)日本中学校体育連盟が定める「拠点校部活動規程」(別紙)に該当している。
- イ 参加者は、開催年度の大会開催基準7の参加資格を満たしている。
- ウ 拠点校は、都道府県中体連に加盟している。
- エ 拠点校としての大会参加が、都道府県中体連に承認されている。
- オ 参加申し込み手続きは当該校の校長が行う。
- カ 拠点校の引率・監督は、拠点校の校長・教員・部活動指導員・適切であるとして校長が認めた外部指導者(コーチ)とする。(令和4年12月6日理事会決定)

(8) 個人情報の取扱い(利用目的)

大会主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)、動画配信等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

9 参加料

- (1) 参加登録選手一人につき、4,000円とする。
- (2) 参加申込書に記載された登録選手数の参加料を、8月9日(金)17:00までに下記口座に振り込みで納入すること。※振込手数料は各チーム負担
- (3) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金を行わない。

振込先	北陸銀行	氷見支店(店番号 215)
口座番号	(普通) 6122154	
口座名義	第53回全国中学校ハンドボール大会	実行委員会 事務局長 光安 淳子

10 引率・監督

- (1) 全中大会に出場するチーム・選手の引率・監督は、出場校(チーム)の校長・教員・部活動指導員※1、地域クラブ活動の代表(指導)者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者にはなれない。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。

- (2) 全中大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が適切であると認めた者とし、所定の「外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）になれない。また、同一人が複数校の外部指導者になれない。地域クラブ活動は該当しない。
- (3) 全中大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者（コーチ）は校長から暴力等に対する指導措置を受けないこととする。
- (4) 全中大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。
- (5) その他、「全国中学校体育大会引率細則」に準ずる。

11 参加数・ブロック割り当て数

下記ブロック区分から選出された男女合計46チームによって行う（男女同数）

地区	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	計
割当数	1	2	4	2	3	3	2	1	4	1	23

12 競技規則

- (1) 2024年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則並びに(公財)日本中学校体育連盟ハンドボール競技運営に関わる申し合わせ事項による。
- (2) 使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。(モルテン d60・ミカサHB40Bシリーズ)

13 競技方法

- (1) トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- (2) 競技時間は、25分-10分-25分とする。同点の場合は延長戦を行う。準決勝までは第1延長、決勝戦は、第2延長まで行い、決定しない場合は7mTC（5名）によって決する。

14 表彰

- (1) 優勝チームに、(公財)日本中学校体育連盟より優勝トロフィー、(公財)日本ハンドボール協会より優勝旗、優勝杯（持ち回り）を授与する。
- (2) 優勝以下第3位までに、トロフィー、メダル、賞状を授与する。
- (3) 優秀選手男女各7名に実行委員会より記念品を授与する。

15 参加申込

- (1) 申込方法
 - ① 所定の用紙に所属学校長印もしくは、地域クラブ活動の場合は代表者印を押印のうえ、下記申込先に簡易書留または簡易速達で申し込むこと。
 - ② プログラム作成の関係上、ブロック大会終了後、第53回全国中学校ハンドボール大会のホームページ（アドレス <https://handball.zenchuu.jp>）から参加申込書ファイル等をダウンロードし、必要事項を入力して、プログラムに載せるチーム写真とともにE-mailにて送ること。その後、下記申込先に正式に関係書類を郵送すること。
 - ③ 8月9日(金)までにブロック大会が終了していない場合、ブロック大会にE-mail分のデータを持参し、全国大会出場が決まった時点でブロック長にそのデータを提出すること。ブロック長がブロック分をまとめてE-mailで送信。参加校は、8月12日(月)消印有効までに正式書類を郵送すること。
- (2) 申込期限 令和6年8月9日(金)17:00必着とする。
- (3) 申込書類
 - ①大会参加申込書 1部
 - ②外部指導者（コーチ）確認書 1部

(4) 申込先

〒935-0025 富山県氷見市鞍川43-1
氷見市ふれあいスポーツセンター内
令和6年度全国中学校体育大会第53回全国中学校ハンドボール大会実行委員会
事務局長 光安 淳子 (みつやす あつこ)
事務局 TEL 080-8478-9167
FAX 0766-74-8501
E-mail 06zenchu.himi@gmail.com

16 諸会議

- (1) (公財)日本中学校体育連盟ハンドボール競技部会
8月19日(月) 9:00~11:00 「氷見市ふれあいスポーツセンター第3会議室」
- (2) 審判・TO合同会議・研修会
8月19日(月) 13:00~14:30 「氷見市ふれあいスポーツセンター サブアリーナ」
- (3) 監督会議
8月19日(月) 15:00~16:00 「氷見市ふれあいスポーツセンター サブアリーナ」

17 宿泊

- (1) 宿泊・弁当については、別紙「宿泊・弁当要項」により斡旋する。
※ 適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず、大会実行委員会指定業者を通して申し込むこと。(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。)
- (2) 申し込みは、直接下記取扱業者の専用WEBシステム上にて、8月10日(土)12:00までに申し込むこと。

〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18
名鉄観光サービス株式会社
担当 寺沢・滝川
TEL 076-431-8056 FAX 076-431-2056
E-mail toyama@mwt.co.jp

18 その他

- (1) 選手の背番号は、No. 1~No.15を使用することが望ましい。大会申込み後の番号変更は認めない。
- (2) ユニフォームは、コート上でGKとCPの4色が判別できるものを用意する。
- (3) 申込み後の選手、氏名の変更は所定の様式に入力の上、指定された期間に提出する。
- (4) 本大会の使用球は、<Handball played without resin>の仕様のため素手でプレーすることを推奨するが、両面テープを使用可とし、松ヤニ及び粘着スプレーの使用は不可とする。
- (5) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、補償措置については、学校からの参加においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参すること。(健康保険証がないときは保険医療が受けられない場合がある)
- (6) 熱中症対策として、「給水タイム」を設定する。運用については、【給水タイムに関するガイドライン】(「暑熱環境下における各種大会の運営について」公益財団法人日本ハンドボール協会：平成30年7月31日)に準ずる。
- (7) 抽選は、主催者及び関係者の立ち会いによる責任代理抽選(抽選日：8月10日(土))とし、決定次第、関係都道府県中学校体育連盟及び参加チームに連絡する。(HP公開日：8月11日(日))
- (8) 同一中学校で男女出場するチームの同時刻での試合は、第1試合(1・2回戦)のみ、できる限り考慮する。
- (9) 開始式には、出場監督、各チーム選手1名、優勝杯・旗返還チーム代表者、選手宣誓者が参加する。
- (10) 男女3位チームは男子準決勝後、3位表彰式に参加する。優勝および準優勝のチームは、

表彰式に参加する。

- (11) 競技会場とは別に、アップ会場を設ける。また、20日に試合がないチームについては、20日のみ練習会場を設ける。
- (12) 大会ホームページに大会要項・申込書類一式・会場案内図を掲載する。
URL [http:// handball.zenchuu.jp](http://handball.zenchuu.jp)

19 連絡先

- (1) 〒935-0025 富山県氷見市鞍川43-1 氷見市ふれあいスポーツセンター内
令和6年度全国中学校体育大会第53回全国中学校ハンドボール大会実行委員会
事務局長 光安 淳子 (みつやす あつこ)
事務局 TEL 080-8478-9167 FAX 0766-74-8501
E-mail 06zenchu.himi@gmail.com

大会期間中 夜間 本部宿舎 『ルートイングランティア氷見』
本部携帯 080-8478-9167

- (2) 大会公式ホームページアドレス
令和6年度全国中学校体育大会第53回全国中学校ハンドボール大会ホームページ
URL [https:// handball.zenchuu.jp](https://handball.zenchuu.jp)

令和6年度 全国中学校体育大会 北信越ブロック大会スローガン

「君の憧れ 君の努力 その全てを北信越に」

